

別添資料 9

井戸関係資料

1) 既設井戸概要

- ・口径：200mmΦ

(昭和 42 年施工の最初の井戸は 300mmΦ鋼管 (SGP)。途中で腐食等により 250mmΦ鋼管 (SGP) を入れた二重ケーシングとした。平成 2 年再度腐食によりさらに 200mmΦ塩ビ管 (VP) を入れた 3 重ケーシングとなっている。)

- ・深さ：約 200m
- ・既設井戸ポンプ：80Φ×62m×1,080L/min×22kw
- ・汲み上げ量実績：平成 16 年度 176,962 m³、17 年度 176,509 m³、18 年度 192,081 m³

2) 機器更新対比表(参考)

別紙 1 参照

撤去・更新・補修・新設は PFI 事業者にて行うこと。

3) 新設フロー図(参考)

別紙 2 参照

4) 既設フロー図(参考)

別紙 3 参照

5) 既設配置図(参考)

別紙 4 参照

6) 水質試験成績表

別紙 5 参照

原水 (井水)

浄水 (井水処理水)

機器更新比較表

	既設			区分	更新		
	機器	設置年	仕様		仕様	数量	備考
電 制 気 御	受電設備			撤去・更新	事業者の提案による		
	各制御盤			撤去・更新	屋内自立型(現場機側盤含む)		
揚 水 設 備	井戸ポンプ			撤去・更新	35m ³ /h×90m×15kw φ80 SUS304製(揚水管更新含む)	1基	
	サンドセパレーター	1981年	50m ³ /h	撤去・更新	35m ³ /h φ80 銅板製 内面ゴムライニング	1基	
	沈砂槽	1992年	φ2000×H2100	撤去		—	
	計装用コンプレッサー	1992年	0.4kw	補修		—	
除 鉄・ 除 マンガン 設 備	原水槽	1981年	15m ³ FRP製パネルタンク	撤去・更新	20m ³ SUS製パネルタンク	1基	日本水道協会企画適合品使用のこと
	ろ過原水ポンプ	1981年	φ100×50m ³ /h×29m×11kw	撤去・更新	35m ³ /h×40m×7.5kw φ65×φ50 ナイロンコーティング	2台	浸出性能基準適合品
	除鉄ろ過器	1981年	50m ³ /h×φ2500×H3050	撤去・更新	全自動型 35m ³ /h×φ2000×H2435 銅板製 内面エポキシ樹脂塗装	1基	ろ材・塗装は日本水道協会企画適合品を使用
	除マンガンろ過器	1981年	50m ³ /h×φ2500×H3050	撤去・更新	全自動型 35m ³ /h×φ2000×H2435 銅板製 内面エポキシ樹脂塗装	1基	ろ材・塗装は日本水道協会企画適合品を使用
	逆洗用ブローア	1981年	ルーツ型	撤去・更新	3.8m ³ /min×0.05MPa×5.5kw 口径80A	1台	
	酸化用コンプレッサー	1981年	1.5kw	撤去		—	
	計装用コンプレッサー	1981年	1.5kw	撤去・更新	0.93MPa×1.5kw タンク容量70L 圧力開閉記器式	1台	
	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	1981年	ダイヤフラム型	撤去・更新	ダイヤフラム型 120ml/min×1.0MPa×10Wφ6×φ11塩ビブレードホース	2台	
	次亜塩素酸ソーダ貯留槽	1981年	300L PVC	撤去・更新	3m ³ PE製 融着フランジ レベルゲージ付き	1基	
	逆洗ポンプ	1981年	φ150×192m ³ /h×23m×18.5kw	撤去・更新	130m ³ /h×20m×15kw φ150×φ150 FC製	1台	
	揚水ポンプNo. 1	1981年	φ100×60m ³ /h×63m×15kw	撤去・更新	35m ³ /h×63m×11kw φ80×φ80 ナイロンコーティング	1台	浸出性能基準適合品
	揚水ポンプNo. 2	1981年	φ100×75m ³ /h×41m×15kw	撤去・更新	35m ³ /h×63m×11kw φ80×φ80 ナイロンコーティング	1台	浸出性能基準適合品
	雑用水移送ポンプ	1985年	φ80×60m ³ /h×7m×2.2kw	撤去・更新	60m ³ /h×7m×2.2kw φ80×φ80 FC製	1台	
	給水ポンプユニット			撤去・更新	30m ³ /h×30m×2.2kw φ40×φ40 SUS製	1台	浸出性能基準適合品
残留塩素計(記録計付き)	1982年	隔膜電極式	撤去・更新	電極式	1基		
浄水池(処理水槽)		168m ³ コンクリート製	補修	防触・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと	
汚 泥 濃 縮 設 備	逆洗排水槽	1982年	260m ³ コンクリート製	補修	防触・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと
	逆洗排水槽攪拌機			撤去・更新	70m ³ /h×3.7kw 自動接続型水中攪拌ポンプ FC製	2台	
	逆洗排水移送ポンプ	1982年	φ65×11.4m ³ /h×10m×1.5kw	撤去・更新	12m ³ /h×10m×1.5kw φ65 自動接続型水中ポンプ FC製	2台	
	凝集槽	1982年	φ1200×H1525	補修	ケレン・塗装・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと
	凝集槽攪拌機	1982年	0.4kw	撤去・更新	0.4kw 縦型攪拌機 150rpm 軸・プロペラSUS304製	1基	
	沈殿槽	1982年	φ4000×H3000	補修	ケレン・塗装・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと
	沈殿槽掻寄機	1982年	0.4kw	撤去・更新	0.4kw サイクロ減速機	1式	
	PAC貯留槽	1982年	4m ³ PE	撤去・更新	2~4m ³ PE製	1基	
	PAC注入ポンプ	1982年	ダイヤフラム型	撤去・更新	ダイヤフラム型 120ml/min×1.0MPa×10Wφ6×φ11塩ビブレードホース	2台	
	凝集助剤溶解槽	1982年	1m ³ 銅板製	撤去・更新	自動溶解装置	1基	
	凝集助剤溶解槽攪拌機	1982年	1.5kw	撤去・更新	自動溶解装置	1基	
	凝集助剤注入ポンプ	1982年	ダイヤフラム型	撤去・更新	ダイヤフラム型 72ml/min×1.0MPa×10Wφ6×φ11塩ビブレードホース	2台	
	汚泥貯留槽	1982年	8m ³ コンクリート製	補修	防触・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと
	放流ポンプ槽	1982年	4m ³ コンクリート製	補修	防触・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと
脱 水 設 備	放流ポンプ	1982年	φ65×12m ³ /h×20m×2.2kw	撤去・更新	10m ³ /h×30m×3.7kw φ65 自動接続型水中ポンプ FC製	2台	
	脱水機(制御版含む)	1982年	全自動圧搾式フィルター 日量22kg/日	撤去・更新	全自動型圧搾式フィルター 日量 22kg/日	1基	
	計装用コンプレッサー	1982年	3.7kw	撤去・更新	脱水機付属機器に含む	1基	
	ベルトコンベヤー	1982年	2台	撤去・撤去		—	
	ホッパー	1982年	4m ³ 銅板製	撤去・更新	ホッパーからコンテナー設置に変更	2基	
	洗浄水槽	1982年	銅板製	撤去・更新	脱水機付属機器に含む	1基	
	ろ布洗浄ポンプ	1982年		撤去・更新	脱水機付属機器に含む	1台	
	給泥ポンプ			撤去・更新	脱水機付属機器に含む	1台	
雑 用 水 設 備	雑用水ろ過器	1985年	14m ³ /h×φ1500×H2700	撤去・更新	全自動型 10m ³ /h×φ1200 銅板製 内面エポキシ樹脂塗装	1基	ろ材・塗装は日本水道協会企画適合品を使用
	雑用水活性炭吸着塔	1985年	14m ³ /h×φ1500×H2700	撤去・更新	全自動型 10m ³ /h×φ1400 銅板製 内面エポキシ樹脂塗装	1基	ろ材・塗装は日本水道協会企画適合品を使用
	計装用コンプレッサー	1985年	0.75kw	撤去・更新	0.93MPa×0.75kw タンク容量38L 圧力開閉記器式	1台	
	雑用水用受水槽	1985年	85.5m ³ コンクリート製	補修	防触・補修	1式	日本水道協会企画適合品使用のこと
	雑用水用逆洗ポンプ	1985年	φ100×72m ³ /h×15m×5.5kw	撤去・更新	60m ³ /h×20m×5.5kw φ80×φ80 FC製	1台	
	雑用水用揚水ポンプ	1985年	φ100×60m ³ /h×92m×30kw	撤去・更新	30m ³ /h×60m×11kw φ80×φ80 FC製	2台	
	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	1985年	ダイヤフラム型	撤去・更新	ダイヤフラム型 72ml/min×1.0MPa×10Wφ6×φ11塩ビブレードホース	1台	
膜 ろ 過 設 備	膜ろ過ユニット			新設	能力 2系列 計20m ³ /h以上 クリプトスポリジウム対応能力を有する	1式	
	処理水槽			新設	20m ³ パネルタンク FRP製	1基	
	膜ユニット原水ポンプ			新設		2台	
	操作盤			新設		1式	
	膜ろ過設備建屋(基礎含む)			新設		1式	
工 事	計測機器設備			撤去・更新	電磁流量計・圧力計・計装用コンプレッサー他含む		
	機械設置工事			撤去・更新	機械撤去含む		
	電気工事			撤去・更新	制御盤含む		
	逆洗排水槽壁面補修			撤去・更新			
	各水槽壁面補修			撤去・更新			
	脱水機室建屋			撤去・更新	コンテナー2基含む		
	膜ろ過設備建屋(基礎含む)			新設			

※ 性能において飲料水を十分に供給しうる設備であること。